

**研究主題**

主体的に取り組む、学び合う児童の育成

**めざす児童像**

- ①主体的に課題へ取り組む子
- ②他者の考えと比較・関連付けしながら学び合う子

**研究の柱と手立て**

《キーワード》  
アクティブ・ラーニング  
クリティカル・シンキング

**【柱1】主体的な学びを生む学習指導の工夫**

主体的

**手立て1 単元を貫く魅力的な言語活動の設定**

→国語の時間が楽しみになるゴールの設定 & 言語活動の系統表作成

**手立て2 問題意識を高める導入**

→単元導入時に教師による成果物、モデルの提示

→本時における導入の工夫

**手立て3 計画的な教師の支援**

→本時における A or B or C 評価にあたる児童への個別支援

学習指導

**【柱2】学びを深めるための学習活動の工夫**

対話的・深い学び

**手立て1 ねらいに迫るための効果的な交流の設定**

→ねらいを達成するためにどの場面で交流するのか

(導入 or 展開の前後 or 終末)

→交流の視点とねらいの明確化

(何のために、どのような話し合いをし、どのような結果を期待するのか)

→交流形態の工夫

(ペア or グループ or 全体)

→多様な学習形態

(ワークショップ、ポスターセッション、、、etc)

→個で思考する時間の確保

**手立て2 振り返りの充実**

→思考の整理、新たな考え、自分自身の活動への価値付け

(次の学習への意欲を高める)

→ワークシートの工夫

学習活動